

【スクールパフォーマンス】全日制

12月2日(日)にグアム日本人学校体育館でスクールパフォーマンスが開催されました。今年のスローガンは『はずかしさを越えて、無限の感動を与え、最高の幕をひこう。』でした。幼稚部、小学部1・2年、3・4年、5・6年、中学部の劇に加え、合奏・合唱を披露しました。

当日は、多くのご来賓、そして保護者やご家族の方々にお越しいただきました。子どもたちは、会場からの大きな拍手に、最後までやり遂げた達成感と力を出し切った充実感で喜びに満ち溢れていました。スクールパフォーマンスを通して、大きく自信をつけることができました。

劇の衣装や小道具など、ご協力いただいた保護者の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

日本人学校 校長 工藤 雅敏



幼稚部・小学部 合奏唱「銀河鉄道999」



小学部3・4年生 劇「光～つなげたいモノ～」



幼稚部 オペレッタ「リュックしょってピクニック」



小学部1・2年 ミュージカル「赤いろうそく」



小学部5・6年 劇「ミス・パーフェクト」



中学部 劇「True Lovers」

盛り上がった【ケーキ・デコレーション】補習授業校

子どもたちは、その日の開始時刻をいまかと待ちわびていました。・・・やがて12時15分。「ケーキ・デコレーション」の始まりです。

各教室では、急いで机を中央に寄せて作業台をつくり、上にのせたケーキを取り囲んで飾り付けの相談が始まりました。

12月8日(土)に行われたこの催しは、補習授業校PTA主催の「お楽しみ会」で、学年ごとにケーキのデコレーションをして競うものでした。今回初めての行事です。

制限時間は30分。ぐずぐずしてはいられません。各クラスでは、話し合いを主導するリーダーが自然と現れ、あらかじめ温めていたアイデアを出し合って方針を決定。手分けして作業に入りました。

普段の授業中には見られない、子どもたち同志のコミュニケーション、団結力です。皆の意欲が、目の輝きと真剣な表情にありありと現れます。そしてやがて、やりきった満足感・・・どの学年もみんなの協力で盛り上がり、見事な出来栄です。

なかには、プロを思わせる繊細な作品もあり、どのクラスが優秀なのか決めかねるなか、小学部5年の作品が最優秀賞に選ばれました。その作品は、マシュマロで作った丘の上からサンタの乗ったソリが滑り降りてくる様子がケーキの上で表現され、立体的なそのアイデアには独創性が光ります。さらに、飾り付けが丁寧で、全体にバランスがとれ、とてもきれいな仕上がりになっていました。

現地校で学びながら補習校に通う子どもたちに、補習校の楽しさをすこしでも味わってほしいという、PTAの皆さまの願いが、子どもたちにそのまま通じる行事になりました。PTAの皆さま、本当にありがとうございました。

補習授業校 校長 井澤 恒晴



優勝クラス製作中



優勝の作品



プリも出来ました



頑張る小学1年生

